



こどもたちの生き抜く力を育てる
知恵と技術を身につける



こども防火教育プログラム

～廿日市市消防本部の取組～

火災の時、大人がこどもたちをいつも守れるとは限りません。
こどもたちには、火災現場でたった一人になった時、ただ泣いているだけでなく、**自分の力で生き抜く力**をつけてほしいと思いませんか？
そこでアメリカの防火教育プログラムを取り入れ考えたのが、**こども防火教育プログラム**です。**令和5年度からスタート！**

廿日市市消防本部
広報キャラクター
「ソナエント」



何するの？

楽しいよ！



今まで言われてきた

「先生の言うことをよく聞いて避難してください。」「火遊びをしません。してはいけません。」

とする防火教育に加え、

こどもたちが**自分の命を自分で守れるよう、知恵と技術**をわかりやすく、楽しく学びます。



①着衣着火の対処

「ストップ ドロップ&ロール」
とまって たおれて ころがって

服に火がついた場合、パニックになって走ると風が起こり、かえって火の勢いを大きくします。地面に倒れて顔を守りながら燃えているところを押さえ込むように転がって消火することを教えます。



ストップ！

ドロップ！

ロール！



ドアノブが熱い！
ということは？



②火災からの大脱出

「グレート・エスケープ」

火災時、一人であっても、自分の知恵と技術で脱出する方法を教えます。

※小学生以上は、さらに火災のことをくわしく教え、模擬火災脱出訓練をします。火災警報器が鳴ったと想定、脱出するための必要な知識と技術を教えます。



くんくん、煙発見！
ピーピー火事です

煙の下を
通って！



避難はしご
で脱出！